

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 日清医療食品株式会社
 コード番号 4315 URL <http://www.nifs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 村田清和
 (氏名) 織田和彦

TEL 03-3287-3611

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第3四半期 | 152,389 | 0.7 | 10,136 | 4.3 | 10,251 | 4.2 | 5,596 | 19.6 |
| 21年3月期第3四半期 | 151,318 | — | 9,717 | — | 9,839 | — | 4,677 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | 78.16 | — |
| 21年3月期第3四半期 | 65.33 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | 91,113 | 63,565 | 69.8 | 887.81 |
| 21年3月期 | 88,467 | 60,968 | 68.9 | 851.54 |

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 63,565百万円 21年3月期 60,968百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 20.00 | — | 20.00 | 40.00 |
| 22年3月期 | — | 20.00 | — | — | — |
| 22年3月期 (予想) | — | — | — | 20.00 | 40.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 206,500 | 2.7 | 12,000 | 41.6 | 12,050 | 38.1 | 6,500 | 65.6 | 90.79 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
[(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 71,640,000株 | 21年3月期 | 71,640,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 42,484株 | 21年3月期 | 42,284株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 71,597,594株 | 21年3月期第3四半期 | 71,597,702株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月20日発表の通期連結業績予想は修正しておりません。
- 上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

わが国の経済は、各種経済対策の効果を背景に景気は一時的に回復に向かっているように思われますが、企業の設備投資は落ち込み、依然として失業率は高水準であり、有効求人倍率は低下しており、個人所得の悪化から消費も低迷しており、海外においてもドバイ首長国の政府系企業の資金繰り問題が表面化したことによって、一時的な大幅ドル安・株式市場の下落などもあり、先進国の景気回復にも時間がかかり景気の先行きは引き続き厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、安全、安心を最優先とし、食品の検査や事業所衛生チェックを強化し、「安全な食事提供・品質管理強化・事業所収益の確保」を重点施策として食品の安全性や品質保持のための施策に積極的に取り組んで参りました。また、自社精米所である東北ライスセンターに続き、九州地区で第2のライスセンターを開設することが決定しており更なる食の安全確保を推進して参ります。また、事業所の作業平準化と効率化を目指すための新型モデルオペレーションの導入も本格的に稼動したことにより労働時間削減効果による導入事業所の拡大により更なる収益改善が見込まれ一層の効率化を目指して参ります。

当第3四半期連結累計期間の営業成績につきましては、新規獲得件数が当社で333件、連結子会社で135件、併せて468件（前年同期比33件増加）となりました。一方解約につきましては、当社で123件、連結子会社で57件、併せて180件（前年同期比23件増加）となりました。当第3四半期連結累計期間末における事業所数は、当社が4,246件、連結子会社が1,756件、併せて6,002件（前年同期比89件増加）になり、第2四半期に引続き利益についてはほぼ計画通りでありましたが、売上高については予想を若干下回る結果となりました。

以上のような活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,523億89百万円（前年同期比0.7%増）になり、営業利益は101億36百万円（前年同期比4.3%増）、経常利益102億51百万円（前年同期比4.2%増）、四半期純利益は55億96百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は911億13百万円となり、前連結会計年度末と比べ、26億46百万円の増加となりました。主な内訳は、現金及び預金の残高が402億54百万円となり、前連結会計年度末と比べ、99億80百万円増加し、受取手形及び売掛金の残高が225億17百万円と前連結会計年度末と比べ、51百万円減少し、流動資産が677億56百万円と前連結会計年度末に比べ、93億22百万円増加しました。また、固定資産の残高は233億56百万円となり前連結会計年度末と比べ、66億76百万円の減少となりました。負債の残高は、275億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ、49百万円の増加となりました。

純資産の残高につきましては、利益剰余金27億32百万円増加により635億65百万円になり、前連結会計年度末に比べ、25億96百万円の増加となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は286億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億60百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は60億75百万円（前年同期は38億24百万円の増加）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益102億22百万円、減価償却費額5億38百万円、のれんの償却額5億49百万円、賞与引当金の減少額17億24百万円、たな卸資産の増加額7億53百万円、仕入債務の増加額6億66百万円、未払金の増加額9億48百万円、未払消費税等の増加額3億69百万円、前払年金費用の増加額3億96百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は51百万円（前年同期は43億32百万円の支出）となりました。これは、主に定期預金の満期による収入46億円や長期性定期預金の預入れによる支出40億円、無形固定資産の取得による支出4億27百万円、投資有価証券の取得による支出6億2百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入13億34百万円や保険積立金の積立による支出8億64百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は29億63百万円（前年同期は32億15百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払額28億56百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

平成22年3月期通期連結業績予想につきましては、平成21年5月20日に発表しました業績予想数値の修正は行っておりませんが、退職給付会計において当社グループ企業年金基金は株式中心の運用を実行しており、株式市況が現状のまま続き、確定給付型企業年金の運用利回り（当社グループ期待運用収益率2.5%～4.0%）が前連結会計年度と比して大幅に上回り、年金数理計算上の差異が有利差異になった場合、売上原価、販売費及び一般管理費に影響することにより、予想している利益が上ぶれする可能性があります。期末の年金資産の時価総額により確定するため連結業績予想を判断する上では考慮しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

①税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(重要な資産の評価基準及び評価方法)

① たな卸資産

前連結会計年度末より、原材料の評価方法を最終仕入原価法から総平均法に変更したため、前第3四半期連結会計期間と当第3四半期連結会計期間で原材料の評価方法が異なっております。

なお、前第3四半期連結会計期間及び前第3四半期連結累計期間に変更後の評価方法を適用した場合の損益に与える影響は軽微であります。

(転リース取引)

前連結会計年度末より、所有権移転外ファイナンス・リース取引の転リース取引について、受取リース料を売上高に、支払リース料を売上原価に計上する方法から貸手として受け取るリース料総額と借手として支払うリース料総額の差額を各期に配分する方法に変更したため、前第3四半期連結会計期間と当第3四半期連結会計期間で会計処理が異なっております。

なお、前第3四半期連結会計期間及び前第3四半期連結累計期間に変更後の会計処理を適用した場合の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

① 四半期連結貸借対照表関係

前第3四半期連結会計期間において区分掲記しておりました、無形固定資産の「ソフトウェア仮勘定」及び投資その他の資産の「前払年金費用」については、当第3四半期連結会計期間において、金額的重要性が乏しくなったため、いずれも「その他」に含めて表示しております。

なお、当第3四半期連結会計期間の無形固定資産の「その他」に含まれる「ソフトウェア仮勘定」は25百万円、投資その他の資産の「その他」に含まれる「前払年金費用」は1,258百万円であります。

また、前第3四半期連結会計期間において区分掲記しておりました、流動負債の「支払手形及び買掛金」については「支払手形」の残高がなくなったため、当第3四半期連結会計期間において、「買掛金」として表示しております。

なお、前第3四半期連結会計期間の流動負債の「支払手形」は3百万円、「買掛金」は10,973百万円であります。

② 四半期連結損益計算書関係

前第3四半期連結累計期間において、特別損失の「その他」に含めていた「投資有価証券評価損」は、特別損失総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしております。

なお、前第3四半期連結累計期間の特別損失の「その他」に含まれる「投資有価証券評価損」は、2百万円であります。

前第3四半期連結会計期間において、特別損失の「その他」に含めていた「投資有価証券評価損」は、特別損失総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結会計期間では区分掲記することとしております。

なお、前第3四半期連結会計期間の特別損失の「その他」に含まれる「投資有価証券評価損」は0百万円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|-------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 40,254 | 30,274 |
| 受取手形及び売掛金 | 22,517 | 22,569 |
| 有価証券 | — | 1,300 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,373 | 1,619 |
| 繰延税金資産 | 1,923 | 1,924 |
| その他 | 756 | 816 |
| 貸倒引当金 | △69 | △70 |
| 流動資産合計 | 67,756 | 58,434 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 2,872 | 2,891 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 3,899 | 4,449 |
| ソフトウェア | 1,908 | 2,186 |
| その他 | 344 | 327 |
| 無形固定資産合計 | 6,153 | 6,963 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,926 | 2,607 |
| 長期性定期預金 | 4,794 | 12,326 |
| その他 | 6,890 | 5,510 |
| 貸倒引当金 | △279 | △266 |
| 投資その他の資産合計 | 14,331 | 20,177 |
| 固定資産合計 | 23,356 | 30,032 |
| 資産合計 | 91,113 | 88,467 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 10,818 | 10,151 |
| 短期借入金 | 200 | 200 |
| 未払法人税等 | 1,880 | 2,817 |
| 賞与引当金 | 1,734 | 3,458 |
| 役員賞与引当金 | 27 | — |
| その他 | 11,093 | 9,017 |
| 流動負債合計 | 25,754 | 25,645 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 1,026 | 1,086 |
| 役員退職慰労引当金 | 107 | 104 |
| その他 | 659 | 660 |
| 固定負債合計 | 1,793 | 1,852 |
| 負債合計 | 27,548 | 27,498 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,971 | 3,971 |
| 資本剰余金 | 4,463 | 4,463 |
| 利益剰余金 | 55,684 | 52,952 |
| 自己株式 | △83 | △83 |
| 株主資本合計 | 64,035 | 61,303 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △470 | △334 |
| 評価・換算差額等合計 | △470 | △334 |
| 純資産合計 | 63,565 | 60,968 |
| 負債純資産合計 | 91,113 | 88,467 |

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 151,318 | 152,389 |
| 売上原価 | 125,090 | 125,040 |
| 売上総利益 | 26,228 | 27,348 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運送費 | 3,429 | 3,661 |
| 役員報酬 | 428 | 446 |
| 給料及び手当 | 4,043 | 4,265 |
| 賞与引当金繰入額 | 407 | 429 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 26 | 27 |
| 退職給付費用 | 120 | 150 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 20 | 9 |
| 租税公課 | 388 | 326 |
| 減価償却費 | 197 | 433 |
| のれん償却額 | 733 | 549 |
| その他 | 6,714 | 6,912 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 16,510 | 17,212 |
| 営業利益 | 9,717 | 10,136 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 160 | 164 |
| 受取配当金 | 2 | 2 |
| その他 | 83 | 76 |
| 営業外収益合計 | 246 | 243 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2 | 2 |
| 貸倒引当金繰入額 | 10 | 58 |
| デリバティブ評価損 | 27 | 32 |
| 投資有価証券評価損 | 36 | 0 |
| 解約負担金 | 26 | 26 |
| その他 | 21 | 6 |
| 営業外費用合計 | 124 | 127 |
| 経常利益 | 9,839 | 10,251 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 144 | 4 |
| 固定資産売却益 | 7 | 0 |
| リース資産減損勘定取崩益 | — | 18 |
| その他 | — | 1 |
| 特別利益合計 | 151 | 24 |

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 特別損失 | | |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 1 |
| 固定資産除却損 | 2 | 2 |
| 減損損失 | 162 | 27 |
| 投資有価証券売却損 | — | 5 |
| 投資有価証券評価損 | — | 14 |
| その他 | 12 | 0 |
| 特別損失合計 | 177 | 53 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 9,813 | 10,222 |
| 法人税等 | 4,570 | 4,626 |
| 過年度法人税等 | 565 | — |
| 四半期純利益 | 4,677 | 5,596 |

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 50,916 | 50,922 |
| 売上原価 | 42,135 | 41,652 |
| 売上総利益 | 8,780 | 9,270 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運送費 | 1,173 | 1,242 |
| 役員報酬 | 145 | 150 |
| 給料及び手当 | 1,357 | 1,442 |
| 賞与引当金繰入額 | 407 | 429 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 8 | 9 |
| 退職給付費用 | 41 | 51 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 2 | 3 |
| 租税公課 | 184 | 103 |
| 減価償却費 | 71 | 146 |
| のれん償却額 | 176 | 183 |
| その他 | 2,036 | 2,012 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 5,605 | 5,774 |
| 営業利益 | 3,175 | 3,496 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 41 | 62 |
| 受取配当金 | 0 | 0 |
| デリバティブ評価益 | — | 5 |
| その他 | 22 | 20 |
| 営業外収益合計 | 64 | 89 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| 貸倒引当金繰入額 | 10 | 64 |
| デリバティブ評価損 | 74 | — |
| 解約負担金 | 14 | 2 |
| その他 | 5 | 1 |
| 営業外費用合計 | 106 | 68 |
| 経常利益 | 3,133 | 3,516 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 67 | — |
| 固定資産売却益 | 0 | — |
| 特別利益合計 | 67 | — |

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日) |
|--------------|---|---|
| 特別損失 | | |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 1 |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 減損損失 | 59 | 7 |
| 投資有価証券評価損 | — | 13 |
| その他 | 10 | 0 |
| 特別損失合計 | 71 | 23 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,129 | 3,492 |
| 法人税等 | 1,426 | 1,562 |
| 過年度法人税等 | 565 | — |
| 四半期純利益 | 1,137 | 1,929 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 9,813 | 10,222 |
| 減価償却費 | 321 | 538 |
| 減損損失 | 162 | 27 |
| のれん償却額 | 733 | 549 |
| デリバティブ評価損益(△は益) | 27 | 32 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △160 | 12 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 38 | 15 |
| ゴルフ会員権評価損 | 10 | — |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △1,456 | △1,724 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △18 | 27 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △37 | △60 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △316 | 2 |
| 受取利息及び受取配当金 | △163 | △166 |
| 支払利息 | 2 | 2 |
| 有形固定資産除却損 | 2 | 2 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △7 | △0 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | 5 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,123 | 51 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △401 | △753 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 792 | 666 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 666 | 948 |
| 長期未払金の増減額(△は減少) | 49 | 28 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 511 | 369 |
| 前払年金費用の増減額(△は増加) | △416 | △396 |
| その他 | 839 | 1,048 |
| 小計 | 9,870 | 11,450 |
| 利息及び配当金の受取額 | 161 | 173 |
| 利息の支払額 | △2 | △2 |
| 法人税等の支払額 | △6,204 | △5,545 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,824 | 6,075 |

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|------------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △20 | △20 |
| 長期性定期預金の預入による支出 | △5,000 | △4,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 4,600 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △41 | △152 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 9 | 4 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,129 | △427 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,003 | △602 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 3,000 | 1,334 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 38 | 34 |
| 保険積立金の積立による支出 | — | △864 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出 | △188 | — |
| その他 | 2 | 43 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,332 | △51 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | — | △107 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 自己株式の売却による収入 | 0 | 0 |
| 配当金の支払額 | △3,215 | △2,856 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,215 | △2,963 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △3,724 | 3,060 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 27,459 | 25,583 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 23,734 | 28,643 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

給食事業の売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

給食事業の売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。